



炭素繊維応用技術研究会

主催：（公財）科学技術交流財団 共催：あいち産業科学技術総合センター
協力：愛知工研協会

炭素繊維複合材料は、金属等の競合材料と比較して圧倒的な軽量化が実現できるため、自動車をはじめとする幅広い産業分野での需要が増加しています。CFRP市場が本格的な拡大期に突入した今、CFRP技術は地域の中小ものづくり企業から大いに注目されています。本研究会は今年度も全3回の予定で開催します。ぜひご参加ください。

《第3回》

日時：平成30年12月14日（金）
13：30～16：30

場所：ウインクあいち 902会議室
（愛知県産業労働センター）
名古屋市中村区名駅4-4-38



（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より
◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分

※応募多数の場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。

《プログラム》

13:30～14:40 「異種材料接合技術の現状と今後の展望」

講師 大阪大学 名誉教授 中田一博 氏

車体軽量化のためには、CFRP や樹脂等と金属材料を組み合わせたマルチマテリアル化が必要である。マルチマテリアル化の接合技術として、熱可塑性 CFRP や熱可塑性樹脂とアルミニウム合金や鉄鋼などの金属材料との直接異材接合に関して、摩擦発熱を利用した摩擦重ね接合法による接合特性と接合継手強度に及ぼす主要な因子、およびその接合機構、ならびに今後の展開について解説する。

14:40～14:50 休憩

14:50～16:00 「自動車軽量化のための異種材料接着に関する技術課題と将来展望」

講師 セメダイン株式会社 執行役員 技術本部長兼開発部長 秋本雅人 氏

異種材料の接着では、面で接合すること、また、接着剤層として多種の物性値を持つ材料を比較的自由に選択できることが特徴である。特に自動車軽量化を目的とした構造接着では、金属とプラスチックの熱膨張係数の違いから発生するひずみに対する応力緩和性と、点接合から面接合にすることによって得られる剛性向上による走行安定性ならびに衝突安全性といった相反する機能が求められる。本講演ではこれらの両立を目指した接着設計について簡単に概説する。

16:00～16:30 名刺交換会

◆**申込方法** 下記申込書にご記入の上、12月7日(金)までにFAX又はメール(chusyo@astf.or.jp)にてお申込み下さい。
科学技術交流財団HPからもお申込みいただけます。
ホームページ：<http://www.astf.or.jp/astf/hukyu/bunya/h30k101.html>

◆**参加費** 全3回分 5,000円(既にお支払済みの場合は 不要です)
(研究交流クラブ会員・愛知工研協会会員の方は3,000円)

◆**お支払方法** 研究会前日までに、以下の銀行口座にお振込み下さい。
振込手数料はご負担願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行『愛知県庁出張所』(店番号191)
口座番号：(普通)1031946
口座名義：公益財団法人 <small>コウエキザイダンホウジン カガクギジュツコウリユウザイダン リジチョウ ハマグチミチナリ</small> 科学技術交流財団 理事長 濱口道成

◆**お問い合わせ先** 当財団 業務部 0561-76-8325

第3回 炭素繊維応用技術研究会 参加申込書

FAX 0561-21-1651

(公財)科学技術交流財団 業務部 行 担当:山岸/松田

ふりがな	
会社名	
所在地	〒
ふりがな	
所属・氏名	
連絡先	TEL FAX
	メールアドレス

※ ご記入いただいた個人情報は、当財団からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。

※ 受講票は発行いたしません。直接会場にお越しください。